



尚 操



〈発行所〉

鳥取県立倉吉西高等学校

尚 操 会

〒682-0925

鳥取県倉吉市秋喜20

倉吉西高等学校内

印刷 (有) 矢積印刷

0858(22)-5312



第37回 西高祭

テーマ「輝」

7月3日(土) ~ 7月5日(月)



花・水・木

「送りバント」の
精神で

西高に自動販売機がつき八年目となった。当時の自治委員を中心に、どのような内容のものにするか、設置に当たっての規則は？など、度重なる会議の末、多くの人の協力の下、設置に至った経過がある。

現在、各教室には「ゴミ分別について」の張り紙がある。「分別ができない場合は自動販売機停止も」といった内容のもの。現状としては厳しいと言ってもいい。分別するゴミ箱があるにもかかわらず、何気なく捨ててしまっていないか。

当たり前のことを、当たり前に行う。これって意外と難しい。「朝起きたら歯を磨く」「自分の利益につながることは出来るのだが、自分以外のところでは「まあいいか」となりがちになってしまう。「ゴミが落ちていたらゴミ箱へ」「バスで満席だったら譲る気持ち」「自分は犠牲になっても他人のために」といった精神が、少しずつ忘れがちになってきてしまっていないか。

八年前、自動販売機設置に関わった一人のOBとして、可愛い後輩たちには、この高校野球でいう「送りバント」の精神を期待したい。

西高四十四回生 桑田 恭幸

九十周年記念式典決定

倉吉西高が創立されて今年で九十周年を迎えます。記念事業として「記念碑」「記念誌」「記念式典」の三つの事業が行われます。今回はその内容の一部をご紹介します。



学校長 山下 俊一

はじめまして

盛夏の候、同窓会の皆様にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃より本校教育のためにご協

力を賜り心よりお礼を申し上げます。

本校は高校教育改革により、平成十一年四月から単位制普通科高校として歩み始めました。「学ぶ意欲を持ち、積極的に学習に取り組む生徒を支援し伸ばす」この考えのもとに、生徒は自分の適性や進路を考え、学ぶ科目を決定し、現在男子二一三名、女子三八一名が生き生きと学習をしています。

部活動にも多くの生徒が参加し、熱心に活動しており、六月上旬に行われた県高校総合体育大会の結果、弓道部が八月に米子で行われる全国高校総合体育大会に出場することに決まりました。また、自転車競技部で二名、文化部では、囲碁部・将棋同好会の全国大会出場が決まっております。



会長 川田 良雄

母校に集おう

大正三年倉吉町立倉吉実科高等女学校が開校され、幾多の変更に

年倉吉町立倉吉実科高等女学校として創立されましたが、今年、学校創立九十周年を迎えます。十一月十一日の記念式典を中心に記念事業を計画し、尚操会の協力を得ながら、現在その実施に向けて検討を行っているところです。

本校がこのように発展してきたのは、ひとえに尚操会の皆様のおかげであると感じ申し上げます。ご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

今年 は 倉吉西高創立90周年

創立90周年記念式典

平成16年11月11日(木)

倉吉西高 体育館

式典 13:00~

記念講演 14:00~

記念リサイタル 15:20~

祝賀会 17:30~

(倉吉シティホテル)
(会費制)

記念式典

十一月十一日行われる記念式典では記念講演に杉本勝子さん、記念リサイタルに名和英子さん、中嶋由紀子さんを招いて盛大に行う予定です。三人のプロフィールをここで紹介します。



杉本 勝子 (記念講演) 西高第十一回生

・一九九六〜一九九八年スターボリング解説者として活躍。
・久米中時代からバスケットを始め、西高ではセンターエースとして団体・インターハイに出場。その後、実業団・東レに入団。団体

出場など六年間活躍。身体的理由からバスケットを引退。二十六歳で初めてボリリングをし、「日本一」を目指す。一年後プロテストに合格。

・主なタイトルとしては、
・第四回ジャパンオープン選手権大会優勝
・第十八・二十回報知オールスター優勝
・第三・五・七回イーグルクラシック優勝
など海外二回を含め、二十六回の優勝を飾る。

・その中で、一九八一・一九八二年全米クイズオープン二連覇の日本人初の快挙を成し遂げた。
・現在、スカイ・Aの解説及びフロアコメントーター、後輩及びプロボウラーへの教育ならびに育成を行なっている。



名和 英子 (シャンソン) 西高第八回生

・日本大学芸術学部卒業。
・大学在学中、シャンソン歌手として「銀巴里」でデビュー。
・シャンソン界の女王、イヴェット・ジローさんとは特に親交が深い。

・一九七九年「名和英子友の会」を結成。
・一九九五年初のアルバム「鐘よ鳴れ」を製作、その記念コンサートを赤坂「草月ホール」で開催
一九九六〜二〇〇〇年フランスに留学。
・一九九九年日本人として初めてパリの伝統ある劇場「THEATRE DEDIX HEURES」でコンサートを開催、大成功をおさめた。

記念事業

記念碑

「栄光の軌跡」として、平成十六年三月三十一日現在で、過去の全国大会(体育・文化活動)三位以内個人・団体の入賞者を称え名前を刻む。なお、名前は入賞当時の姓で刻むこととする。

記念誌

① 創立八十周年(平成六年)以後、九十周年(平成十六年)までの十年の歩みを記録し、百周年につなげる。

② 創立以後の貴重な写真を収集して「写真と資料」で見る九十周年を主たる内容にし、当時の生徒の姿が見えるようにする。

③ 文字による沿革史略年表をつける。

④ 会報「尚操」から記事を役員の皆様へ抜粋していただき掲載する。



中嶋由紀子 (ピアノ) 西高第三十八回生

・現在、文京学院大学・生涯学習センターなどの講師。

・武蔵野音楽大学大学院終了。
・クロイツァー賞受賞。
・一九九七年レインボー21サントリホールデビューコンサートに出演。

・オーストリア国立グラーツ音楽大学に留学。
・二〇〇二年第一回鳥取県人材発掘ピアノオーディション鳥取県知事賞(グランプリ)受賞。
・東京・倉吉(鳥取)でリサイタルを開催。
・現在、聖徳大学・同短期大学講師。

恒例のクラス会

私達西高第八回生三年一組は、昭和六十年を初回に今回が八回目のクラス会となりました。平成十五年、秋晴の九月二十七日(土)東郷町水明荘で開催しました。秋の取り入れ、運動会等、都合の悪い方もあって、十五名の出席でした。

今年は還暦で人生の節目の年に当り、健康で再会出来た事を喜び



合いました。

四十二年振りに初めての出席の方もあり、懐かしさで歓声が沸き上がり、学生時代の思い出話に花が咲きました。

ご馳走をいただきながら順番で結婚のなりそめ、子供、孫、趣味等々話は尽きません。思わず笑ったり、うなづいたり時間の過ぎるのも忘れて話し合い、楽しい一日でした。

会も終盤となり、次回の幹事さんを決め、二年後は神戸の方で開催することに決まり、旅行を兼ねて関西へ出掛ける事を約束して散会しました。

西高八回生 山本 孝子 近衛 暉代

東郷湖のほとりで

平成十五年九月二十八日、東郷温泉「水明荘」に三十三名が集いました。近年、津和野、東京、松江など遠出が続きましたので、久しぶりに地元で開催しました。いつもより出席人数はやや少なかったのですが、卒業以来初めての参加という方が二名あったのは、何れともあれ感激でした。故郷をなつかしんで、わざわざ帰ってきて下さったお二人を迎えただけでも、この集いの意義があったと、



平成16年度 尚操会総会案内

とき 8月22日(日)
ところ 倉吉シティホテル
総会 10時から
講演会 11時から
「西高の思い出」
青山 進二先生
懇親会 12時から
会費 3,000円

母校はいま……

うれしく思ったことでした。大部分の出席者は常連となり、胸につけた名札を見なくても、すぐに六十年近い年月が後戻りして話はずんでしまいます。もんぺに下駄ばきの通学、白鉢巻をしめてがんばった生徒動員、今では考えられない学生時代を過ごした私たちは、いつの集いでも、この間の

ことのように話は尽きません。次々とどび出す多才な芸にもみとれて、あつという間に時間が経ってしまいました。翌日は、近くの燕趙園で、ゆつたりとした時を過ごし、元気で出席できたことを感謝しながら、別れを惜しんだ二日間でした。
倉女三十二回生 高見 芳子

生徒憲章LHR

生徒憲章は昭和六十一年に、生徒・保護者・職員が自由と責任を重んじる学校を目指し、度重なる検討の末に作り上げられました。今では、倉吉西高教育の理念として位置付けられています。



このカードを配り、それぞれの思いを書いてもらい、班でお互いのカードを見せ合っ、類似したカードを集め、いくつかの語群を作って、その語群を生徒憲章風にアレンジして自分たちで憲章を作りました。

生徒憲章制定当時の経緯や、より深い理解を目的として、ステージ2・3では六月二十一日(月)に、ステージ1は六月二十八日(月)に生徒憲章LHRを行いました。今回の取り組みでは、各ホームで生徒に「私はこんな西高生になりたい」「友達にはこんな西高生であってほしい」「こんなホームであってほしい」という三

つものカードを配り、それぞれの思いを書いてもらい、班でお互いのカードを見せ合っ、類似したカードを集め、いくつかの語群を作って、その語群を生徒憲章風にアレンジして自分たちで憲章を作りました。あるホームでは、班で話し合われた憲章を更にホーム全員で話し合い「ホーム憲章」を制定したり、またあるホームでは、カードを貼り、マジックを使った作業の模造紙をホームの壁に貼ったりと、創意工夫が見られました。制定された「ホーム憲章」には、私は西高生活において、けじめある西高生を目指します。私は母の愛のように優しく、ときに厳しく友達に接します。



「私たちは」ではなく、「私は」で始まる生徒憲章・ホーム憲章には、個人の自覚の大切さが象徴されていることを学び、今後も責任感を持って生活することを誓う意義深いLHRとなりました。

灼熱の教室に さようなら

今年の夏から西高の教室で待望の冷房設備がデビューすることになりました。近年の猛暑の影響で生徒、教職員、保護者などから「教室内が暑くて勉強にならない」「生徒の体調が悪くなる」などの意見や、学校週五日制に伴って、学力水準を維持する必要から夏季休業中の補習が以前に増して行われるようになったことなどを背景に、県内では八校(中部では倉吉東高と倉吉西高)が第一次整備校として今夏から冷房が運転されることになりました。



六月末までにすでに二回の試運転が行われましたが、両日とも肌寒い日でしたので、快適とは言えませんでした。次第に必要な性能が増す日々となってきています。

運動の基準として室内温度三十度以上、又は室内湿度八十%以上で二十六度以上の時に運転され、二十八度に保たれます。七月二日から正式に運転が開始されますので、この夏には快適な学園生活を送っている西高生徒たちの喜びの声が聞こえていることでしょう。

—— ありがとう ——

原稿をお願いし、書いていただいた会員の皆様、本当にありがとうございました。ごさいます。

今回の九十周年記念事業は十年後の百周年に向けてのつなぎの事業として行われます。ますます飛躍する倉吉西高となりますよう尚操会員様には今後とも、より一層の協力を宜しくお願いいたします。